



広報みまた



56/6月号

おだ遣いせず、貯金を!

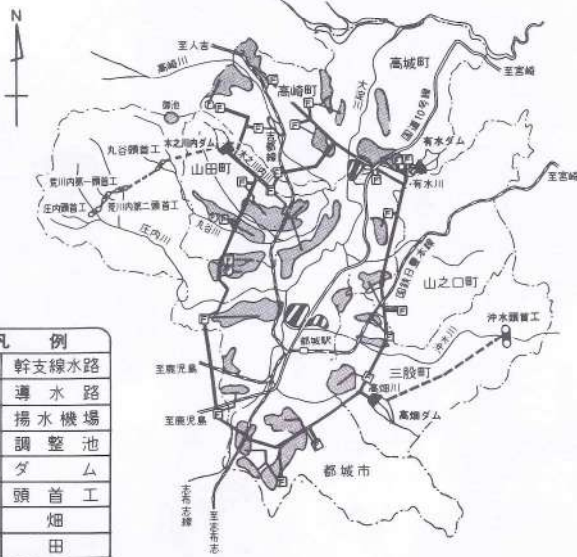
町では、各小学校の一年生に、貯金箱を配布しました。これは子どもにお金に対する認識を、もっと深めてもらうために行っているもので、今年で2回目です。お金が元でおこる非行や犯罪は、増加の一途です。私達みんなでもう一度、ムダ・ムリ・ミエなどをなくして、貯蓄について考えてみてはいかがでしょうか。

写真＝貯金箱を手に喜ぶ一年生 三股小にて＝

都城盆地の畑地かんがい事業

国営土地改良事業

都城盆地地区概要図

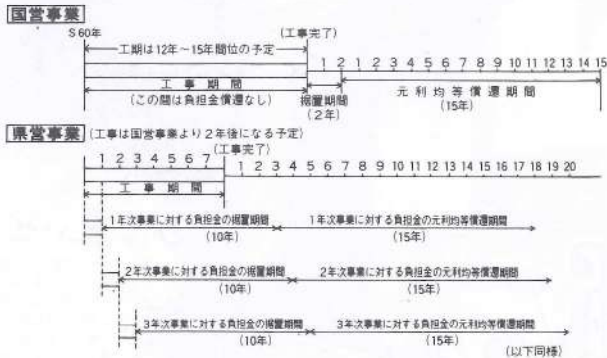


凡例	
—	幹支線水路
----	導水路
⊕	揚水機場
⊖	調整池
⊔	ダム
⊕	頭首工
⊖	畑
⊔	田

前号まで二回にわたり、都城盆地の畑地かんがい事業の事業費、事業のしくみ、受益面積、事業の効果などを掲載しました。今月号は事業の概要、地元負担金の償還方法、等を掲載してみます。なおこの事業についての質問や問い合わせは気軽に役場農地課(二一—二一番内線六十八番)にお願いします。

(都城盆地土地改良事業三股町推進協議会)

事業費の地元負担金の償還方法



質問コーナー

問 この事業は地区内に三分の二以上の賛成者があれば実施するのか、またその場合反対者の所有地を地区から除外して実施するのですか。

答 土地改良法によって実施する場合、関係農家の三分の二以上の同意があれば事業を実施することができるようになっています。一般にこのような土地改良事業においては、大字別に九十パーセント以上の同意を得て、事業を実施するようにしております。

問 ダム及び頭首工の設置は決定したのですか。

答 ダム貯水は洪水時の降雨水並びに余剰水のみを貯留します。原則として、下流の既設の井堰、自然取水等に影響を及ぼさない範囲で行い、あらかじめ下流関係者と話しあうことで最終的には正式の同意を得たうえで、取水下限流量を決めることになっております。

問 ダム下流の水量が枯れる心配はありませんか。

答 ダムは大淀川水系の萩原川支流高畑川上流に高畑ダム高城町の有水川に有水ダム山田町の木之内川に木之内川内ダムの三ヶ所を予定し、現在築造の可能性について調査を進めていますが、地質調査等の結果によってはダムサイトの変更も考えられます。またダムの貯留にあたっては洪水時や比較的河川流量の多い時期の余剰水を貯留し、下流の既得水利権または、河川維持管理及び魚族の棲息等を優先して確保のうえで取水するので、下流に現状以上の支障はあたえません。

問 河川水位の低下により、下流の水利権関係のトラブルは生じないのか。

答 ダム貯水は洪水時の降雨水並びに余剰水のみを貯留します。原則として、下流の既設の井堰、自然取水等に影響を及ぼさない範囲で行い、あらかじめ下流関係者と話しあうことで最終的には正式の同意を得たうえで、取水下限流量を決めることになっております。

「子供の好きな水遊び 保護者が目を光らせて安全に

水の事故防止

六月〜八月は子供の水の事故が目だつて増える時期です。

子供の水の事故は、この時期に限らず一年中起こっています。

六月〜八月がとくに多く、同じ時期の交通事故による死者を大きく上回っています。

子供は、水遊びが大好きです。その反面、水の怖さを知りません。そのため、親がちよつと目を離したスキに、とりかえしのつかない悲しい事故に結びつくことが多いのです。

子供の水の事故は保護者の責任——と心得て、ふだんから子供によく注意するとともに、水の事故から尊い生命を守るためには、次のような点に十分気を付けましょう。

◆子供たちだけで水泳や水遊びに行かないよう、ふだんから言いかせておきましょう。

◆家の近くのため池や用水池などがある、サクとかワタがない場合は、所有者に申し入れて、すぐ処置をしてもらいましょう。





子ども声を聞く会 真中 三股 三 年 村 中 真 一 昭和55年11月現在

交通について 望むこと

大昔、人間が狩をしていた頃、交通事故はなかった。人間が米を作り始め、村を造り出した頃も交通事故はなかった。江戸時代も、交通事故はなかった。あったとしても、せいぜい馬に蹴られるほどのものだったろう。そして今、交通事故で命を落とす人が、なんと多いことだろう。こうしてみると、交通事故は、人間が作ってしまった非常に危険な病気だ。ではなぜこんなに交通事故が多いのかどうしたらこの危険な病気がなくなるのだろうか。

交通事故が多くなった原因の一つに、高度成長時代の影響があると思う。

自動車が道路にあふれるようになった。それにつれどろんどろん道を作るようになった。しかし欠陥だらけの道だ。

見通しの悪い道路が多い。せめて

カーブミラーぐらいつけてほしいと思う。橋も幅が狭い。橋の上でトラックなどに出会うと危なくてハラハラする。歩道も狭い所が多い。こういったことには、もったい金を使ってもいいのではないかと道のことを考えてみたが、もう他には、交通事故をなくす方法はないものだろうか。まわりくどいことをやらずに、まだ簡単な方法があるのではないかと。それはみんなの心の問題だと思う。私達は、以外と不幸と隣り合わせに住んでいるものだ。新聞に載っている殺人犯を恨むあなたが、いつ人を殺すかわからないのだ。あなたがいつ人に殺されるかわからないのだ。自分の命を守るのには自分でしかないのだ。

人を殺す、又は自分が死ぬ、そういうことへつながるわずかな心のすきまはどんなことだろう。信号無視がある。飲酒運転がある。いぬわり運転をする人がいる。飛び出しがある。横断歩道をわたらない。

ぼく達中学生も非常に悪い。自転車の二人乗りがある。ものを食べながら自転車に乗る。暗くなくても無灯火で下校する。友だちとよさげながら道を歩く。よく気づけて見ると小さな違反者のなると多いことだろう。

なぜ小さなことが守れないのだろう、それは、見つからなければいいという考えがあるからではないか、中学生だけではない。大人にもいえることだ。警察が見ていなければ、たいしたことはない。そういう考えがあるのだと思う。交通事故の魔の手が、今にも自分をつかもうとしているのが、わからないのだろうか自分は交通事故とは縁はないと、思っているのかも知れない。

違反していることは、ほんの小さなことだが、その小さなことがまれに大きな事故につながってしまうのだ。こうして不注意は、他人の努力によってはなくなるはいくら道路の整備に力を入れたところでなんにもならない。心の中から改めなくてはよくならないと思う。

要するに交通事故をなくすためには、一人一人の心構えが必要なのだ。一人一人の心構えが必要なのだ。交通事故と、過去に、将来に、縁のない人はいないはずだ。一人一人が心の中を改めることによって、悲惨な事故が、一つ一つ減ってゆく。

ぼくの夢は、交通事故がこの世からなくなってしまうことだ。ぼく達が大人になつてしまふ頃には、文明

の落とし物である、つまらない交通事故という病気が、全くない社会でありたい。また、そうする努力が必要だと思ふ。

町立病院より

昨年度は、町民の皆さんに、外科医のごことで大変御迷惑をおかけいたしました。今年度は、鹿児島大学医学部との間で、長期の医師の赴任が契約できるとのことです。

新任の医師は、下田健志先生で、特に消化器関係(胃、腸、肝臓、食道等)を専門とされています。そのため今回、胃カメラ(内視鏡)の最新式を購入し、胃関係の病果を的確に診断できるようになりました。胃の病果等で悩んでおられる方は御利用下さい。

また、以前から実施している人間ドックも気軽に御利用下さい。この人間ドックでは、糖尿、コレステロール、中性脂肪、かん臓等、すべての検査を実施し、病果を早期に発見できるよう、院長はじめ全員で努力しておりますのでこの検査も大いに御利用下さい。このほかにも、日曜日のできる、短期のドックも実施いたしております。

また、以前から実施している人間ドックも気軽に御利用下さい。この人間ドックでは、糖尿、コレステロール、中性脂肪、かん臓等、すべての検査を実施し、病果を早期に発見できるよう、院長はじめ全員で努力しておりますのでこの検査も大いに御利用下さい。このほかにも、日曜日のできる、短期のドックも実施いたしております。

歯の健康 (第三回)

子供の歯を守る会

(細菌とムシ歯)

を疲れさせるだけである。まして中年になるとこの傾向が強く、更にカロリー過剰で肥満、高血圧のものとなる。何れにしても大食は百害あって一利なしである。

(2) 毎日適度な運動と排便を心掛ける。

毎朝の便通は胃腸の状態を知らせる重要な手がかりで、快便はまさに健康のしるしである。便秘や下痢は胃腸病の人に多く、また便通はよくてもタール様の色(胃潰瘍、十二指腸潰瘍)とか血便(痔核、直腸癌)などは充分注意を要する。

ムシ歯は、細菌感染症である点は、他の疾患と同じですが、少し異なる特徴を持っています。それは、他の疾患は、身体外部の毒力の強い細菌の体内侵入により発生するのに対して、ムシ歯は口腔内に常在する毒力の弱い細菌によって発生する点です。これを、特に内因性感染と云って他の疾患と区別しています。また多くの疾患は一種類の細菌が、病気を引き起こすのに対し、ムシ歯は、いろいろな種類の細菌が、共同して引き起こす、いわゆる混合感染という感染系体をとることが知られています。これら口腔内常在のムシ歯菌は、ムシ歯のない人の口腔内にも、存在し、歯質が劣化したり、砂糖摂取量が増化し、口腔内環境が劣悪化すると、ムシ歯菌が一気に暴れ出して、ムシ歯を発生させる原因となるのです。次に口腔内の細菌の様子を述べましょう。口腔内には、球菌、桿菌、糸状菌、他に原虫など三十余種の細菌が常在して

百億個と驚くほどの数です。また歯垢は、食物カスと誤った認識の人が多いですが、実際は、歯垢は細菌塊であり、歯垢成分の七十％は細菌なのです。これではムシ歯にならない方が不思議ですね。さて口腔常在菌を、形態から分けると、球、桿、糸状菌と分けられますが、その中でも、連鎖球菌の数が多く、唾液中細菌の四十一％、歯垢内細菌の二十八％を占めます。その連鎖球菌の中で、ミュタンス菌が次のような訳で、ミュシ歯の原因菌と云われています。(一)治療後にはミュタンス菌の数が減少する。(二)砂糖を好み、デキストランという体外多糖を形成して歯に着生する。(三)同時に、体内多糖を産成、貯蔵し、栄養の無い歯の内部でも長期生存出来る。四歯質を溶解する酸を産成する能力に優れている。以上のことで細菌とムシ歯の関係が理解出来るかと思いますが、この細菌を除くことが不可能な現在において、歯質を強化し、ムシ歯にならぬ努力をすることが、ムシ歯予防の最大目標なのです。そのためフッ素予防が、全世界、厚生省、日本歯科医師会で推奨されているのです。

健康な胃といふのは赤らキんぐらいなもので、人間も中年をむかえたら胃腸は長年使われて弱ってくる。それはやがて胃腸病となる。胃腸は健康のもとといわれる。胃腸は人間は食物を摂取することにによって生命を維持しているのであるから、胃腸が悪ければ健康でありえない。よく若さにものをいわせて夜二次会、三次会に暴飲暴食をする人があつた。これは胃腸病のもとになる。更にそんな不摂生を続けていて早死にする。先づ胃腸の摂生こそ健康のもとと云える。

そこで胃腸を丈夫にし健康な体を維持するためには次のことを日常生活の心得として知っておくことが大切です。

(1) 大食は百害あって一利なし。

食物の食いだめは効かない。あとで空腹になるのをみこして一度に大食したり、時々大食したりする人があつた。この場合消化不十分で胃腸炎を起し易い。またたたくさんの肉等を食べても蛋白質は体内に蓄積され

胃腸と健康 (その1)



を疲れさせるだけである。まして中年になるとこの傾向が強く、更にカロリー過剰で肥満、高血圧のものとなる。何れにしても大食は百害あって一利なしである。

(2) 毎日適度な運動と排便を心掛ける。

毎朝の便通は胃腸の状態を知らせる重要な手がかりで、快便はまさに健康のしるしである。便秘や下痢は胃腸病の人に多く、また便通はよくてもタール様の色(胃潰瘍、十二指腸潰瘍)とか血便(痔核、直腸癌)などは充分注意を要する。

百億個と驚くほどの数です。また歯垢は、食物カスと誤った認識の人が多いですが、実際は、歯垢は細菌塊であり、歯垢成分の七十％は細菌なのです。これではムシ歯にならない方が不思議ですね。さて口腔常在菌を、形態から分けると、球、桿、糸状菌と分けられますが、その中でも、連鎖球菌の数が多く、唾液中細菌の四十一％、歯垢内細菌の二十八％を占めます。その連鎖球菌の中で、ミュタンス菌が次のような訳で、ミュシ歯の原因菌と云われています。(一)治療後にはミュタンス菌の数が減少する。(二)砂糖を好み、デキストランという体外多糖を形成して歯に着生する。(三)同時に、体内多糖を産成、貯蔵し、栄養の無い歯の内部でも長期生存出来る。四歯質を溶解する酸を産成する能力に優れている。以上のことで細菌とムシ歯の関係が理解出来るかと思いますが、この細菌を除くことが不可能な現在において、歯質を強化し、ムシ歯にならぬ努力をすることが、ムシ歯予防の最大目標なのです。そのためフッ素予防が、全世界、厚生省、日本歯科医師会で推奨されているのです。



優等一席に 木下・中村氏 第四期和牛品評会

第四期の和牛品評会の成績は次のとおりでした。

優等のみ	木下重行	徳田 公	飯塚ミツ	松山重次
イヌの部	永吉次夫			
メスの部	中村純雄	大久保文明	小牧八平	
	飯屋光男	園田鎮也	中石利雄	松山勝彦
	河野ミネ	木下エダ	岩波重雄	
育成二部	西 利治	崎田正太	和田利秋	
育成三部	松崎信夫	安田貞子	政野正信	岩波重雄
	宮田重雄			



益金を社協へ寄贈 幸寿洋

藤間幸寿洋会（会長河野政則）は、先日町長室を訪れ、チャリティショウの益金20万円を、町社会福祉協議会（会長桑畑三夫）へ寄贈しました。

これは、4月25日に町体育館で開催した、チャリティショウで得た純益を、町内の福祉活動に役立てて欲しいという目的で、寄贈されたものです。これを受けて会長は「大変ありがとうございます。主旨に添うよう十分活用させていただきます。」とお礼を述べました。



優良乳質一位は蓼池

町酪農部会（会長宮里正）では、4月27日、老人福祉センターで大会を開催しました。

大会では、乳質改善共励会や永年勤続婦人の表彰を行ったのち、県営農指導課の渡辺専門技術員が、「春夏作飼料作物の作り方」と題した講演を行い、研修を深めました。本町の乳質は、都城農協の十三支所中、一位で、部会では乳質改善はもとより、消費拡大にも一層の努力をすることを誓いました。

乳質共励会成績は次のとおり。

第1位 蓼池 第2位 樺山 第3位 宮村



肥育農家に素牛を供給

老人が生まれて間もない乳牛の雄子牛を育成し、肥育農家に素牛として供給する事業の第1回目の素牛が5月18日肥育農家に買い受けられました。

これは、去年の9月から11月にかけて酪農家から購入した雄子牛を、老人が丹念に飼育し、約8ヶ月間で300キログラムに成長しました。今回は5頭が平均17万円で取引され、飼養者も購入した肥育農家もこの事業の成果をよこんでいました。

町の

話題

中村文庫を設置 町立図書館

町立図書館に中村文庫が開架しました。この文庫は、植木の故中村重義氏の遺志を受け、奥さんのイクさんが、町に寄附されたお金で設置されたものです。文庫には幼児向けから一般向けまで約750冊がぎっしりならび、中には高価な図書も含まれています。

図書館では、町民の皆さんに、文庫の利用を呼びかけています。

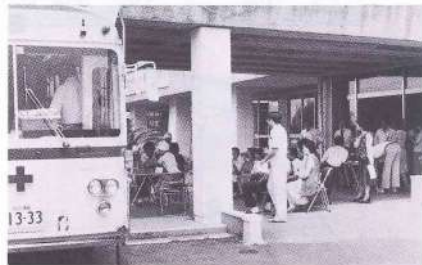
尚、本町は、中村氏の尊い御遺志に善行賞を贈りました。



5人が献血

去る5月26日、日本赤十字血液センターの採血車いずみ号が本町を訪れ、役場及び山幸蓼池製作所で採血を行いました。

役場玄関前では、午前10時から12時までの間に、職員を始め一般住民も協力し、申込み者73名中59名が献血しました。尚午後は山幸製作所の職員36名が申込み、26名が献血しました。町献血推進協議会では、今後も献血を呼びかける計画ですので、町民の皆様への御理解と御協力をお願いします。



地区巡り研修始まる。第一地区公民館

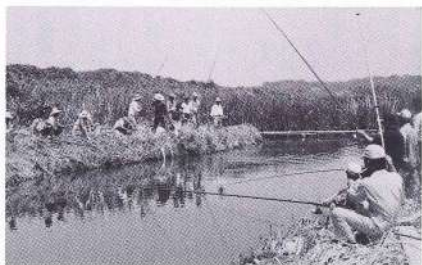
町では毎年地区巡り研修会を開催していますが、今年度も、6月7日、第一地区を皮切りに始まりました。

この地区巡り研修会は、従来、ややもすると各地区の要望や苦情相談が多かったので、今年度は更に実りあるものとするため各地区の特性を生かしながら、地区毎に課題を設定し、地区民と町行政の対話を深めることにより、問題点を掘り下げ、もってその課題解決の方向を見い出そうとするものです。



賑わったつり大会

町淡水漁業協同組合が、毎年行っているつり大会は、今年は6月6日・7日の2日間細目川で行われ延べ300人のつり人で賑わいました。淡水漁業組合では、つり大会用として鯉200kg（約300尾）と、ます50kg（約150尾）を放流しました。つり人はほとんどが町内で、その大半を小中学生が占め、放流した魚のほとんどがつり上げられたようです。中には家族連れで訪れ、手造りの弁当を囲みながらのほほえましい姿も見受けられました。



お知らせ

●地方税法、町税条例が改正されました。

去る三月国会で地方税法が改正され、これによる町税条例が三月三十一日専決され、五月一日の議会で承認されました。今回改正された内容について関係あるものを、お知らせいたします。

町民税所得割の非課税制度の新設、町民税の所得割について昭和五十六年限りの時限立法として家族一人当り二十七万円以下の所得の人は町民税がかからなくなりまし

た。又均等割については一人当り十八万円以下の人は税金がかかりません(昨年は十七万円以下)。

老人配偶者控除の創設
今まで配偶者については、七〇才以上であっても二十二万円しか控除されていなかったのを今後は二十三万円控除することになりました。

新築住宅の減額措置の改正
今まで一〇〇㎡以下の住宅を建てた場合三年間半分減額していたのを四〇㎡以上一六五㎡以下の住宅が適用されることになりました。

●事業所統計調査
に御協力を！
来る七月一日には、全国いっせいに事業所統計調査が行われます。この調査は、三年ごとに行われるもので、今回の調査は十三回目に当たります。

この調査ではすべての事業所を調査して、我が国の産業構造を明らかにして、国や地方公共団体における各種行政施策の基礎資料として、役立てることがねらいです。六月下旬から調査員が事業所を訪問して、調査票の記入をお願いしますので御協力下さい。



●「防犯運動」明るく住みよい町づくりの集い町大会

一、日時 七月五日(日)
午前九時～十二時
場所 三股小学校体育館

昭和五十六年六月二十日発行第一五六号

- 三、主な内容
イ、防犯標語入選者表彰
ロ、防犯に対する各団体決議
四、実演
イ、腹話術
ロ、小学生コーラス
ハ、三股中吹奏楽部演奏
ニ、県警察音楽隊演奏
ホ、指紋のとり方実演
ヘ、パトカー・白バイ等展示

町民どなたでも参加できます。お気軽に御参加を！



一般寄付

山中孝二君 勝岡小六年 一万円。
山中君はお金を一万円拾得し、すぐ警察に届出しましたが、期間内に落し主が現われなかったため、山中君に返されたお金を、社会福祉協議会に寄贈されました。ありがとうございます。

愛のご寄付

昭和五十六年四月十七日から
昭和五十六年六月三日まで

寄付者 故人名 地区 金額

尾崎 秀治(妻)	フク	高畑	三万円
染矢 喜利(夫)	オモイ	山ノ口	二万円
瀬尾 熊雄(祖母)	キク	大サ	一万円
木下 盛夫(父)	敬助	中米	五万円
大崎 靖子(父)	敬信	仲町	一万円
畑中 初二(母)	トヨ	飯望	二万円
佐沢 利彦(母)	カスミ	下新	五万円
高野 イマ(夫)	数盛	飯屋	二万円
久富 弥生(夫)	鉄男	植木	三万円
中野 俊母(母)	ヒデ	田上	三万円
蒲生 涉子(優)	テ	山王原	一万円
福永 福一(母)	サクラ	蓼池	二万円
川添 エミ(夫)	肇	上池	三万円
中原 信夫(母)	方ヨ	植木	五万円
田瓜 ミナエ(夫)	具	吾寺	二万円
安土 洋子(母)	敏子	山王原	二万円

三股町の人口

昭和56年6月1日現在

人口17,798人 出生 22人
男 8,453人 死亡 9人
女 9,345人 転入 71人
転出 81人

世帯数 5,441戸
前月比 + 3人

発行 宮崎県北諸県郡三股町 編集 職員課